

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）会議録
開催日時	令和4年3月25日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：高橋議長、河野副議長、伊尻委員、勝野委員、川原委員、黒羽委員 小松委員、菅野委員、攝賀委員、長谷川委員、松本委員、宮本委員 事務局：和田社会教育課長、江藤社会教育課長補佐兼社会教育係長、野田主事
議題	議 事 （1） 地域学校協働活動の現在の課題（けやき小学校・明保中学校）と改善案・提案について （3） その他
配付資料	資料1 社会教育委員の会議（2月定例会）会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●令和4年2月の定例会議の会議録（案）について、承認する。

●議事について

議事（1） 地域学校協働活動の現在の課題と改善案・提案について

○事務局：下記のとおり説明

- ◆2月の定例会議において、起草委員会を組織し案をつくるという事が決定された。
- ◆起草委員は高橋議長、河野副議長、長谷川委員、川原委員の4名で構成されており、開催日時は3月7日16時30分から19時。
- ◆起草委員会での協議内容については副議長よりお願いしたい。

○副議長：起草委員会で協議した内容について、説明する。

- ◆2月の定例会において、今後、地域学校協働活動を進めていく学校にとっては、既に始めている学校の事例が非常に参考になるという意見を尊重し、参考資料は「各学校の事例」と「地域学校協働活動の現在の課題と改善・提案の表」の二部構成にすることにした。
- ◆各学校の事例については、社会教育委員の会議への報告として今までご提出いただいた資料を用いて構成した。
- ◆「現在の課題と改善・提案」については、実現が可能ではないようなものを削除したうえで、若干の文言整理を行った。
- ◆その上で、委員により冒頭の文章やタイトル付けの作業をしていただき、メール等で確認をし合い、こちらの資料となった。

○議長：何か質問や意見はあるか。

○委員：けやき小学校の活動取組状況の3番目の効果及び課題他が空欄になっているが、教職員へ行った地域学校協働活動のニーズ調査アンケートについて伺いたい。

○委員：地域の方と協働して行いたい事務、授業等で外部講師として呼びたい方の職種、その他

の意見についてアンケート調査を実施した。協働で実施したい事務については、長期休業中の栽培植物の水やり、必要に応じて行事の運営補助、大型連休中の飼育動物のお世話などがあった。授業等で外部講師としてお呼びしたい方の職種は、地域の特色や良さを語れる方、ラジオパーソナリティやアナウンサー等の話し方について語れる方をお呼びしていただきたいという意見をいただいた。その他の意見については地域との関わりの中で、児童がより多くの経験をできればよい等の意見をいただいた。

- 委員：先生方の協力がどのようにして得られるか、先生方がどのようなものを望んでいるのかを把握した上で、活動の展開を考えていくことが大事であると考えます。
- 議長：社会教育委員の会議で報告として頂いた資料を、参考資料として添付しているので、新しい報告が更新されていないものについては、新たに資料を付けて何ページ参照のように後付けでも良いのではないだろうか。
- 委員：おそらくアンケート結果はどの学校も同様のようになると考える。それより、そのアンケート結果に基づいてどのように動いたなどの動きが分かればほかの学校にも参考になると考える。
- 委員：アンケート調査については地域学校協働活動を実施する上で、何が出来るかを知りたくて行ったものであり、このアンケート結果は資料として載せなくてもよいと考える。
- 委員：アンケート調査を行ったという項目は残し、実際のアンケート結果は必要ないと考える。また、内容を盛り込みすぎると、新しく地域学校協働活動を始める学校にとっては負担になるのではないだろうか。
- 委員：質問だが、この参考資料は校長会以外にも提出されることはあるのか。
- 事務局：今後、地域学校協働活動を始めていく学校への参考資料となるので、まずは校長会の方へ提出するが、CSの皆さんや、地域の方へも配布されていくものになる予定である。
- 委員：社会教育委員の会議の報告資料としてまとめたものと、校長会に提出する資料だと構成等も変わる可能性がある。現在の資料は社会教育委員の会議の報告資料としてまとめたものなので、2校の資料の体裁が統一されていない点が気になる。
- 議長：事務局はどのように考えるか。
- 事務局：文言の精査は必要になると考える。社会教育委員の会議の報告資料として提出頂いた資料ではあるが、実際に学校現場で活動されている方の資料も非常に参考になるのではないかと考える。地域の皆様がこのように作成したという点が大切であると感じる。
- 委員：参考資料をどの程度のものとして扱って校長会に提出するものなのかを考える必要がある。資料の程度によっては校長会への提出は難しいことはあるのか。
- 委員：項目立ては整える必要があると考える。項目を整えた中で、各学校の資料は学校ごとに整えると、まとまりのある資料になるのではないだろうか。両校で書き方が異なることは個性でもある。
- 議長：両校に関する資料について気になるところは両校で確認して頂き、そのあとに事務局で精査するという事でいかかだろうか。

- 委員：見る側が役に立つ情報が盛り込まれていればよいと考える。年間を通じて行ったこと全てを資料に載せるのではなく、実際に行って良かったことや失敗したこともあるだろうから、見る側にとって役に立つものを載せるといいのではないか。資料の中身は学校が分かっていることなので、学校で確認し、誤字等については事務局の方で精査して頂きたい。
- 委員：事例集が先に来ている構成が気になる。ブレインストーミングで話し合った地域学校協働活動に関する改善・提案を前に出すべきなのではないだろうか。
- 委員：同じく逆にした方が、標題にふさわしいと考える。
- 委員：他の委員は何か意見等あるか。
- 委員：ブレインストーミングを実施した際の図なども、載せるとわかりやすいのではないか。
- 委員：この参考資料を初めて見ると、地域学校協働活動が重たい活動のように感じるのではないか。
- 委員：シンプルな方が校長先生にとっても分かりやすいのではないか。
- 委員：推進員がどのように活動したかを学校に知ってもらうためにも、この参考資料を校長会に提出した方が良いと考える。
また、推進員の元にもこの参考資料が渡れば良いと考える。
- 委員：標題が重すぎるところがある。標題の重さに対して、参考資料に関する検討時間が少ない。社会教育委員の名前で資料を出すのであれば、2校の行ったものを社会教育委員の皆さんが熟知した上で、校長会へ出す必要がある。
- 事務局：令和4年度から地域学校協働活動を新たに実施する学校へ向けて参考にしていただきたいというところから、4月の校長会への提出を目指してきた流れがある。そういう意味ではタイトなスケジュールになってしまうところはある。地域学校協働活動はこうしなければいけないという決まりはないので、あくまで参考資料として、校長会へ提出していきたいと考えている。
- 議長：両校の資料については、両校で確認をして頂き、資料全体の精査については事務局で精査していただくということで進めていきたい。構成については事務局の方で修正願いたい。

議事（2）その他

次回会議について

4月22日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 3階会議室